

## 第4日目

文・写真 後藤

9月8日（月）晴

タイム 起床4：30－剣沢発6：38－別山乗越7：25－雷鳥沢－室堂9：48－扇沢11：56－大町温泉郷「薬師の湯」－あさぎり「道の駅」－下土狩17：00

標高差 上り 剣沢テント場約2550m～別山乗越約2750m＝約200m  
雷鳥沢約2280m～室堂約2430m＝約150m  
下り 別山乗越約2750m～雷鳥沢約2280m＝約470m

この2～3日、熟睡感がなかったが、昨夜はよく眠れた。プレッシャーから解放されたのだろうか。2日間夜間出なかった尿も、昨夜は大量に出た。

剣が朝焼けに染まる、美しくさわやかな朝だった。朝食は、昨夜の「トン汁」にご飯を入れて雑炊にした。流動食だから食べやすい。疲れた胃にも優しい。8時出発予定だったが、とてもそれまで待てないのでT葉と二人で先行する。

ブラブラゆっくり別山乗越をこなす。ここの標高差は200mと案外少ない。花が良かった。簡単に乗越着。今朝は空気が澄んでいて、遥か彼方の大きな山塊は、白山かと思った。剣もここで最後。近くの方にシャッターを押して貰った。フレンドリーな方で二人の間に剣岳が入る様に撮影してくれた。乗越を下って行くと、可成りの方が上って来る。

中には女性が30名、男性が2名の団体さんがいた。遠く福岡から来て、三山をやるといっていた。大きな荷物を背負った若い衆20名は専修大学生だった。秋山合宿らしいが、荷物は35Kgといった。珍しく「ニッカーズボン」を履いた夫婦が来た。聞けば「ニッカー」が楽だという。同じ仲間と思い写真を撮った。

硫黄の匂いにむせながら上れば室堂だった。立山と彫った大きな碑の前で記念写真。ここで観光者を相手にしている業者がサービスで撮ってくれた。皆さんイイ方達ばかり。

バスを待っていたら、あさぎりが大汗を掻いて到着。相当、飛ばしたようだ。簡単に扇沢着。長い様で短い山行だった。あさぎりさんと若いT葉にはいろいろ世話になった。感謝である。



別山乗越



兎菊



学生さん



ニッカー夫婦



黒四ダム



扇沢